

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	家電量販店（店長）	・6～8月に、薄型テレビ、DVDレコーダーが急激に伸びる見込みである。また、エアコン、食器洗浄器なども、期待できる。
	やや良くなる	家電量販店（店長）	・オリンピック開催効果から、デジタル関連商品の動きが活発になる。また、長期予報では猛暑が予想されており、来期は相当期待できる。
		家電量販店（営業担当）	・例年より暑い夏になるとの予報から、季節商品及び冷蔵庫、洗濯機などの商品に期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・客の動きが活発で、来場者数も非常に多く、新型車を発売する6月以降、販売は上向くと期待している。
		旅行代理店（従業員）	・国内外への旅行相談が増えており、夏休み期間中の旅行実績は確実に増加すると見ている。
		観光名所（経営者）	・昨年は冷夏のため、客の動きが悪かったが、今年は例年並みの暑さが予想されるので、観光客の増加を見込んでいる。
		ゴルフ場（従業員）	・来場者数は2、3か月前からコンスタントに増加している。2、3か月後の予約もコンスタントに入っている状況から判断すると、この流れは続く。
		設計事務所（所長）	・一戸建住宅や高齢者向け住宅に動きが出てきた。
	住宅販売会社（従業員）	・商談に時間のかかる高額物件の相談が増えており、ここ数か月以内で受注単価は大きくなる。	
	変わらない	一般小売店〔菓子〕（販売担当）	・まだまだ客数の減少が止まらない。
百貨店（総務担当）		・客の買い方は依然変わっていない。例えば、催し物で2,000円以上買上の方に粗品を進呈するとした場合、客の多くは2,000円しか購入しない。また、宝石では、ダイヤに売上が集中し、値段が高いか安いかわかりにくいルビー、サファイア、エメラルドなどはさっぱり売れない。	
百貨店（営業担当）		・宝飾、絵画等の高級品は、比較的好調に推移している。しかし、キャリア、ヤング向けの高ファッション商品の動きが鈍く、バーゲンに対する反応も総じて小さい。	
コンビニ（店長）		・酒類免許の緩和、スーパーの営業時間延長による影響は、今後、売上不振として現れる。また、飲食店や食堂等からの受注は減少しており、回復する要因が見当たらない。	
衣料品専門店（経営者）		・来客数の減少による売上の前年割れが続いており、現状では回復の見込みは薄い。	
乗用車販売店（従業員）		・販売店の再編により、販売競争はますます激化している。	
乗用車販売店（営業担当）		・来客数が低下しているため、訪問活動により新車購入情報を収集しているが、購買意欲がなく、期待が持てない。	
都市型ホテル（経営者）		・先行きの予約状況が、もう一つ伸びてこない。	
その他住宅〔不動産〕（経営者）		・取扱状況に顕著な変化がみられないため、このような状況がしばらく続く。	
やや悪くなる		商店街（代表者）	・7月に、郊外のショッピングセンターにシネコンがオープンすることから、商店街の映画館が1館閉館する。この影響で客はますます郊外へシフトする。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	・2、3か月先は、イベント、新規オープン、開店などが少なく、売上が伸びる可能性がない。	
	スーパー（営業担当）	・中元等に関する購入アンケートを行ったが、今年は抑えめ、また身内の方には送らないといった消極的な意見が多い。	
	設計事務所（職員）	・生産余力はあるが、受注力、受注量が伴わないため、上半期はそれほど景気は良くなる見込みはない。	
悪くなる			
企業 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	食料品製造業（従業員）	・2、3か月先に新商品の発売が予定されており、その新商品の効果で、販売量は現在よりも伸びる。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・4、5月の落ち込みが大きく、今後はこれ以上落ち込むことはなく、少し上がってくる。
		化学工業（営業所長）	・全体的に受注量が増加傾向にあり、中国特需による原料不足から、品不足のタイト感が出てきている。

	電気機械器具製造業（経営者）	・工場の設備更新等は大変活発になってきた。しかし、設備投資をする会社としない会社の格差が顕著になっている。具体的には、光関係は伸びているが、食品・化学等はまだまだである。	
	金融業（融資担当）	・県外の都市部の会社と取引する一部製造業で、受注が改善している。	
	広告代理店（経営者）	・取引先で8、12月に新店オープン予定があり、受注面で少し上向きの話が増えてきている。	
	公認会計士	・最近、取引先からの相談で、設備投資、土地購入等の内容が増えてきており、各企業とも将来に明るさがみられる。	
変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・排ガス規制や機械の老朽化による買換え需要が続いており、総需要が前年を上回って推移している。この状態が継続すると考えている。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・鋼材等の高騰が今後どう影響するか、先行きが不安である。	
	建設業（総務担当）	・設備投資関連の引き合いが増えると予測されるが、競争が激しく、落札価格が押し下げられ、受注できても収益面では厳しい状況が続く見込みである。	
	輸送業（支店長）	・原材料を含む石油製品の値上がり分を商品価格に転嫁できる状況ではなく、先行きに不安感がある。	
	輸送業（役員）	・主な客の出荷量の伸びは、前年比で横ばいとなってきており、大きく伸びる見込みは薄い。	
	やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-	
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・4、5月に取引先に提案している、お盆前のUターン者の戦力採用、特にプレーン採用の求人が増加する。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・上半期の求人広告予算は、どの企業も前年比マイナスになっている。
		職業安定所（職員）	・求人数は前年比で若干増加しつつあるが、雇用保険の被保険者数は減少傾向に歯止めがかかっていない。建設業で企業整理の動きも強まっており、雇用面での厳しさはまだまだ続く見込みである。
		職業安定所（職員）	・新規求職者数は、前年比で8か月連続して増加したが微増にとどまった。また、求職期間が長期化する傾向にあったが、長期滞留していた求職者が減少している。
	学校〔大学〕（就職担当）	・大学新卒者への求人は、量的拡大がみられず、採用に対する企業の慎重な姿勢が続いている。	
やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・6月末で派遣を打ち切る企業が予想以上に多かったため、やや悪くなってくる。	
悪くなる	-	-	